



国民春闘共闘

第16号

2016年3月23日

国民春闘共闘委員会

〒113-8462 東京都文京区湯島2-4-4 全労連会館
☎ 03-5842-5621 FAX 03-5842-5622

3・17 全国統一行動

全国各地でストライキ決起！！

国民春闘共闘委員会は集中回答指定日翌日の17日を2016年国民春闘最大の結節点と位置づけ、生活や労働実態を顧みない回答に抗議し、大幅な賃金引上げ・底上げ実現をめざすとともに、戦争法廃止、残業代ゼロ法案の廃案などを掲げ全国統一行動を行いました。日本医労連、JMITU、建交労、生協労連、全印総連、映演労連などでのストライキ決起をはじめ、職場集会やワッペン闘争、デモ、署名宣伝行動など全国各地で多様な取り組みを展開しました。

日本医労連～84組合がストライキ決行～



「月額4万円・時間額250円」以上の賃上げ要求を掲げたたかう日本医労連では、84組合がストライキに立ち上がったのをはじめ、職場集会、退勤時調査、ビラ配布など215組合が多彩な行動を実施しました（3月18日13時現在報告分）。

秋田・中通病院労組では、回答指定日に回答を示さない理事会に対して、抗議のストライキを決行。「若い組合員が、将来展望が持てず他の施設に転職していく。職員が辞めないよう賃金労働条件の改善を」と再度要求しました。早朝抗議集会は、秋田と大曲をあわせて140人が結集。新聞・テレビ局の取材があり、テレビ放映されました。

山形県医労連では、生活改善にならない1次回答への抗議と次回団交での上積みを求め、産別方針に従って、地場民間8単組（庄内医生労組、本間労組、山済労組、小白川労組、篠田労組、かけはし労組）が、一斉に2時間～半日のストライキを決行しました。

「薬剤師に7,000円のベア」の回答を引き出した埼玉民医労は、薬剤師以外の職種は定昇のみに留まり、訪問看護の手当の引き上げも少額にとどまったため、「全職員の賃金底上げには程遠く、職員の生活を守る点からも、人材を確保する点からも納得できるものではない」と1時間のストライキを決行し、決起集会を開催。埼労連、川口市労連からの支援も含め約50名が参加しました。

東京民医労・南部医療支部は「定昇のみ」の回答に対し、「経営改善が進まないというが、多忙な現場で働く者の処遇改善も急務。ベアなし回答は許されない」と抗議し、始業時1時間のストライキを行い90名が参加。ストライキに引き続き、戦争法廃止の署名行動を行い、戦争法廃止にむけた決意も表明されました。

福岡・親仁会労組は、パート職員の一時金（一律1万～2万円）の前進回答を引き出しましたが、正職員の一時金は削減回答であったため、66名で2時間のストライキを決行しました。

宮城・松島医療生協労組では、「定昇のみ」の回答に対し「経営が厳しいというが、職員は懸命に努力している」「パートは、13年働いても10円/年しか時給があがらない」と団体交渉で改善を迫り、17日には30分間の全面ストを実施し、病院前での集会では全員発言で要求をぶつけました。



全日赤医療センターでは、早朝7時30分から病院玄関前で患者・職員向け宣伝行動を行い、職員の人員不足などを訴えたビラを配布、夜勤改善・大幅増員署名に列をなす場面もありました。その後1時間のストライキに突入し、決起集会を実施。「病棟は16時間夜勤で5回、6回が全体の75%を占める過酷な実態」「育児短時間勤務者が増加しているが、必要な補充がないため、人員体制もとれず走り回っている」など職場の実態も報告されました。

福島医療生協労組は、「回答延期」に抗議し、30分の全面ストライキを実施しました。福島県労連や農協労連、生協労組からも支援者が参加。行動では、「原発NO!」「戦争NO!」の手作りの横断幕をかかげ、原発ゼロ、戦争廃止もアピールしました。

JMITU～大幅賃上げ、戦争法廃止、残業代ゼロ法案・消費税増税の阻止掲げ～



産別回答指定日翌日の3月10日に74支部・分会がリレーストライキを中心に統一行動に立ち上がったJMITUでは、17日に第2次統一行動を展開。通信産業本部をはじめ、長野、埼玉、東京、愛知、兵庫などでストライキに突入しました。

通信産業本部では、NTTグループ各社の「正規平均1,600円、非正規社員ゼロ回答」という超低額かつ格差を広げる回答に抗議し、全国23都道府県22支部・分会68事業所で131人が始

業時から10時までのストライキをたたかい抜きました。

東京・大手町にあるNTT持株会社前には80人が結集しストライキ総決起中央集会を開催。「NTTは9兆5千億円を超える内部留保の3.66%を取り崩すだけで月額28,000円、時間額250円の要求は実現可能だ。大企業として社会的責任を果たせ」と迫りました。

JMITU 東京東部地協は江戸川区で労働者総決起集会を開催し、地域組織、自治労連なども含め200人が参加。終了後、デモ行進、葛西駅前宣伝を実施しました。

決起集会では東部地協の鈴木議長があいさつ。「回答状況は要求や生活に照らして全く話にならない低額。このままでは生活維持さえできない。いまいちど要求額の意味や思い入れを確認して粘り強くたたかおう」と訴えました。全労連、東京春闘共闘、足立区労連などからの激励あいさつでは、憲法に保障されたスト権、団結権を堂々と行使する組合員への連帯の意が表明され、利益を上げ支払能力のある大企業での低額回答やアベノミクスを批判し、大幅賃上げ・底上げ、戦争法廃止

や労働法制改悪阻止の実現へともにたたかう決意が示されました。東部地区協としての3.17統一行動決議、そして集会決議を採択し、最後に「東部から日本を変えていこう！」と団結ガンパローで締めくり、デモ行進に出発しました。

JMITUでは全国統一ストライキを、大幅賃上げを求める対経営者ストライキというだけでなく、対政府ストライキと位置づけ、『戦争法』廃止、『残業代ゼロ法案』と消費税増税の阻止を求める決議」を約50カ所であげています。

建交労～「ベースダウン」「低額回答」に怒り～

建交労では、東京・京王新労組、神奈川・三昭運輸、西日本鉄道本部がストライキに立ち上がりました。

京王新労働組合は、大幅賃上げ、長時間労働など労働条件の改善、組合差別の是正、安全な公共交通を求めて終日ストライキに突入。小金井営業所の前には多くの支援者が駆けつけ、10時からストライキ突入集会が行われました。京王新労組・佐々木仁委員長は主催者あいさつで「昨夜まで交渉を行っていたが、連合が合意した『ベースダウン』の回答だったため、ストライキに入らざるを得なくなった」と述べました。



また、1月の京王バス事故にふれ「長時間労働についても改善を求める」と労働条件や評価制度の改善を訴えました。支援者から激励のあいさつがあり、最後に営業所に向かってシュプレヒコールを行いました。

西日本鉄道本部は午前0時から午後6時までのストライキを決行。大阪市内のJR西日本本社前で行われたストライキ突入行動には大阪労連などの仲間も支援に駆け、「低額回答に抗議して空前のもうけをしているJR西日本に再回答を求め、大きな成果を勝ち取ろう」、「大幅賃上げ、労働条件の改善、契約社員の正社員化にむけ奮闘する」などたたかう決意と抗議の声を響かせました。

生協労連～人手不足対策は待ったなし！～



京都生協労組と京都生協パート職員労組が京都府下の各店舗で「セパ統一15分時限ストライキ」を決行し、JMITUや自治労連などの仲間も支援にかけつけました。「ローンが本当にずっしり重い。賃上げを強く要求する」、「負の連鎖。人手不足で体調を壊す人が多数出てきている」、「年度末一時金出なかった。私達のがんばりを評価してない」など組合員からは切実な声が寄せられており、ストライキを成功させた団結の力で春闘をたたかい抜く決意です。

映演労連～経済闘争と社会的課題を結合し決起～

4月13日を回答指定日に設定した映演労連では、国民春闘共闘委員会の提起に呼応し、17日を映演労連統一行動日に設定、経済闘争と社会的課題を結合させたアピール行動を展開しました。

全単組で映演労連「統一黄色いビラ」を作成し、早朝ビラ行動、社前集会、机上配布などを実施。

松竹労組では「リストラ合理化反対、戦争法廃止、労働法制改悪阻止、映演産業の危機打開のためのストライキ権」を行使し、約30人が指名ストライキを決行して統一集会を開催しています。

STOP暴走政治、戦争法廃止！ 壊すな憲法
暮らしまもる共同で、賃上げと雇用の安定、地域活性化